

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		福祉推進管理事務費 [旧軍人等援護事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	10	
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)										
		☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		福祉推進		課		庶務		係		課長名 嶋田 淳		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 社会福祉の充実								施策番号		2 - 5		
								総合計画書(ページ)		63		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 戦没者の妻・子・父母等や戦傷病者の妻等で、弔慰金または給付金の受給要件に該当する者。				→				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 東京都への進達件数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 対象者が住所地の自治体で請求及び国債を受領できる。				→				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 弔慰金及び給付金の申請件数/東京都への進達件数			
	③ そのために何をしましたか。 戦没者の妻・子・父母等や戦傷病者の妻等から弔慰金または給付金の申請を受け付け、国債を代理受領し、請求者に交付する。				→				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 市内在住の戦没者の妻・子・父母等や戦傷病者の妻の弔慰金及び給付金の申請件数			
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	件	67	9	0						
	成果指標	②の数値	%	100	100	0						
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)								
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人									
		所要人数(再任用)	人	0.5	0.5	0.5						
		職員人件費(再任用以外)	円									
職員人件費(再任用)		円	1,510,000	1,510,000	1,510,000							
事業費+人件費		円	1,510,000	1,510,000	1,510,000							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											